

夢づくり協働推進事業の実施状況 6

事業名

びっちゅう環境と地産地消フェア

事業の概要

大量生産・大量廃棄に伴う廃棄物の増加をはじめ、地球温暖化による農林水産物への影響、輸入農水産物の増加に伴うフードマイレージの増大など、環境問題と食糧問題が相互に関係し合う新たな課題が論じられる中、食を通じ、地域における環境問題についての一層の理解と認識を深め、環境保全意識の一層の高揚と積極的取組を促進することを目的として、6月の環境月間に合わせ、関係団体と協働して「びっちゅう環境と地産地消フェア～地域から見つめ直そう。環境のこと、食のこと～」を開催した。

協働の主体・役割分担

協働の主体	役割分担内容
備中県民局 浅口市 岡山西農業協同組合 寄島町漁業協同組合 岡山西温暖化対策協議会 (財)水島地域環境再生財団 備中地域食料自給率向上対策会議	全体調整（実行委員会構成員、事務局） 地元調整（実行委員会構成員） 開催支援、出展（実行委員会構成員） 開催支援、出展（実行委員会構成員） 開催支援、出展（実行委員会構成員） 開催支援、出展（実行委員会構成員） 開催支援、出展（実行委員会構成員）
矢掛高、おかやま山陽高、井原高、岡山龍谷高、笠岡商業高、笠岡工業高	事例発表（ステージイベント）、出展
おかやまエコマインドネットワーク、NPO法人岡山環境カウンセラー協会、むかし遊び楽舎、アッケシソウを守る会、倉敷・総社温暖化対策協議会、NPO法人自然エネルギー・環境協会、三菱自動車工業(株)、千年の森づくり、星の郷青空市、井笠の味づくり研究会、平松農産、鴨方町手延素麵生産者協議会	出展（環境体験コーナー、地産地消コーナー）

実施状況

- 日時 平成22年6月13日（日）10:00～13:30
- 場所 浅口市ふれあい交流館サンパレア（浅口市寄島町16091-23）
- 主催 びっちゅう環境と地産地消フェア実行委員会
- 参加者 県民、事業者、行政関係者等約800人

〈ちらし〉



5 内容

(1) ステージイベント

- ・ 高校生等による事例発表「ヤング・エコ・トーク」
発表事例：余布を使ったエコバック、リサイクルフラワーポット、エコカー等
- ・ 国民文化祭PRステージ
- ・ おさかなオークション（ミニ競り市）



(2) 環境体験コーナー

- ・ 海辺の生き物観察（タッチプール）、海ゴミ問題等に関する展示
- ・ 電気自動車の試乗体験
- ・ 環境学習車さんよう号
- ・ 廃油キャンドルづくり、ペットボトルけん玉づくり、紙すき体験
- ・ 環境すごろく、環境クイズ
- ・ むかし遊び体験
- ・ アクセシソウ保存の取組のパネル展示
- ・ エコ生活のアイデアや太陽光エネルギーに関する展示
- ・ 「ヤング・エコ・トーク」発表高校による展示





(3) 地産地消コーナー

- ・食料自給率出前講座
- ・地元産品（野菜、鮮魚、農産加工品等）、そうめん・うどん等の販売



(4) その他

- ・「グリーンイベントガイドラインおかやま」に基づき実施した。
- ・カーボンオフセットを目的として、グリーン電力を購入した。
- ・公共交通機関を利用しての参加を呼びかけた。なお、JR金光駅から会場まで及びJR鴨方駅から会場までをそれぞれ結ぶシャトルバスを運行した。
- ・緑の募金活動も併せて実施した。

成果・効果

- 1 輸送に必要なエネルギー使用量が少ない点で環境負荷の低い地元産品にも目を向けながら、フェア来場者に地球温暖化防止の取組を身近なものとして感じてもらい、日常のライフスタイルを見直すきっかけを提供することができた。
- 2 次代を担う高校生に環境をキーワードとして活動事例を発表してもらうことで、成人のフェア来場者に刺激を与え、環境保全に対する関心を高めることができた。また、高校生に事例発表の場を与えることで、環境保全活動に対する意欲を高めることができた。
- 3 環境関係団体や農業関係団体など多方面の力を結集して、協働によるイベントを実施することができた。